

GIS 学術士資格 実績証明団体指定 認定科目説明書

科目種別	【C】	GISによる地図作成・空間分析の実習を中心とする科目			
大学名	〇〇大学				
開設学部・学科	〇△△学部〇〇学科			組み合わせる科目がある場合は記入してください。	
授業科目名	GIS実習				
組み合わせ科目					
単位数	(半期・通年・集中・その他)		4単位※		
履修対象学年	3・4年生				
申請年度	2014			過去にさかのぼって申請する場合にはその年度を記入してください。	
遡り申請年度(同一授業名・同一担当教員の場合に限る)	2012, 2013				
担当教員 (複数担当の場合は代表教員が記入してください)	担当形式	専任/非常勤	資格	(ふりがな) まるさんかくまるまる	
	単独/複数	教授・准教授・専任講師・助教・非常勤講師	GIS専門学術士/GIS学術士 専門地域調査士/地域調査士 (該当するものに○)	〇△〇〇	
担当教員(複数の場合、担当教員全員の氏名を記入)	××〇〇、〇△□□				
学科長等 (科目内容について責任を負える者)	教授・准教授・専任講師		GIS専門学術士/GIS学術士 専門地域調査士/地域調査士 (該当するものに○)	(ふりがな) さんかくまるまる △〇〇〇	
授業のねらい (3行程度)					
ここには、シラバス等を参考に、授業のねらいを簡潔に記入してください					
授業内容のキーワードチェックリスト					
※系統的に授業で取り扱うキーワードを五つ以上選択し、チェック欄に○を記入					
No	チェック	キーワード	No	チェック	キーワード
1	○	点データ分析(点分布パターン、最近隣距離法等)	11	○	空間結合/属性結合
2	○	空間分割	12	○	位置情報の取得と表示
3	○	空間補間(内挿)	13	○	ジオプロセッシング (インターセクト/ディゾルブ/クリップ)
4	○	ネットワーク分析	14	○	バッファリング
5	○	地形解析	15	○	ジオリファレンス(幾何補正)
6		リモートセンシング	16	○	ベクトルデータとラスタデータの作成(含む変換)
7	○	地理(図)投影法の操作/投影(座標系)変換	17		三次元表示
8	○	主題図作成 (図形表現図、階級区分図、コロプレスマップ...など)	授業で取り扱う5つ以上のキーワードを選択し、チェック欄に○を記入し、最後にチェック数を書き入れてください。		チェック数
9	○	距離・面積の測定			15
10	○	空間検索/属性検索			
シラバスで授業内容を証明するのが難しい場合は、別途、授業時の配布資料やppt資料等を添付してください。		添付資料			
		シラバス/授業時配布資料/その他			
授業方式					
講義/実験・実習/演習					
成績評価方法・基準					
レポート 60% 授業に対する取り組み姿勢 40%					

※【C】科目は90分×30週=2700分の実習を中心とする科目です。複数科目の組み合わせ申請の場合は、組み合わせ科目のすべてに関してこの説明書を作成して下さい。